

大阪府立箕面東高等学校 令和5年度 第3回学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立箕面東高等学校
校長名	佐藤 誠治

開催日時	令和6年3月8日（金） 14:00 ～ 15:30
開催場所	箕面東高等学校 校長室
出席者（委員）	伊東委員、篠崎委員、永井委員、島本委員、宮下委員
出席者（学校）	佐藤校長、川上教頭、磯田教頭、宮守首席、山田首席 納教諭、尚山教諭
傍聴者	
協議資料	1. スクール・ポリシー案、作成スケジュール 2. 学校教育自己診断アンケート結果（生徒、保護者、教職員） 3. 令和5年度卒業生の進路決定状況 4. 「スタディツアーin 韓国」資料 5. 「novel 部活アカデミー（プレ）」in 箕面開催要項 6. 令和5年度 学校経営計画及び学校評価（案） 7. 令和6年度 学校経営計画及び学校評価（案）
備考	

〇・・・委員の方の発言

*・・・本校教員の発言

議題等(次第順)

【報告事項】

1. スクール・ポリシーについて（佐藤校長）
2. 学校教育自己診断アンケートについて（川上教頭）
3. 令和5年度卒業生の進路決定状況について（山田首席）
4. 「スタディツアーin 韓国」の取り組みについて（磯田教頭）
5. 「novel 部活アカデミー（プレ）」in 箕面について（宮守首席）

【協議事項】

1. 令和5年度学校経営計画及び学校評価について（佐藤校長）
2. 令和6年度学校経営計画について（佐藤校長）

協議内容・承認事項等（意見の概要）

【報告事項】

1. スクール・ポリシーについて
*昨年度にスクール・ミッションを作成、今年度中にスクール・ポリシーを作成予定で、教育庁に案を提出。

- * グラディエーション・ポリシーについては訂正なし。学校の概要、アドミッション・ポリシーは返答待ち。
- * 新年度からスクール・ポリシーを Web 上に掲載予定。

2. 学校教育自己診断アンケートについて

- * 昨年度円グラフだったものを、棒グラフに変更。
- * わかる授業の項目、昨年度 80%→今年度 91%に大きく上昇。
- * 国数英の理解度、昨年度 80%→今年度 83%に上昇。
- * 学校のルールを守っている、昨年度同様 90%を維持。
- * 生徒の声には、行事に芸能人を呼んでほしい、授業中に隠れてスマホを触っている生徒に注意してほしい、授業中にうるさいときがあるのでどうかしてほしいなどがあった。
- * 教職員アンケートの ICT 活用率は 100%に近づいている。校内の清掃、PTA 活動への参加、働き方改革の項目については更なる改善が必要。
- * 保護者アンケートには 68 名が回答。保護者の声には、学校施設の充実などがあった。

3. 令和 5 年度卒業生の進路決定状況について

- * 進路に関する行事はほぼ予定通りに実施できた。
- * 進路状況は、進学が減少傾向、就職が増加傾向。
- * 進路指導部だけでなく、学校全体としてバックアップできる仕組みをつくりたい。
- * 外部との連携は、「総探」や「産業社会と人間」の時間を活用し、大学教授の講義を聞く、進路講演会、「社長と話そう」などを実施。
- * 進路の手引きを発行。有効な活用をめざす。
- * キャリアコーディネーターによる面談を実施。コーディネーターの有効な活用法を考えたい。
- * 進学費用の問題。早い段階からの奨学金説明会などを実施する。

4. スタディツアーin 韓国について

- * 韓国とはこれまでに光陽高校及び光陽女子高校と Web 交流を何度か実施していた。
- * R5 年 8 月に韓国観光公社の訪韓企画により教員が韓国へ視察し、計画が本格的に始動。出発を来週の 14~16 日に控えている。
- * 事前学習会も実施しており、ネイティブの先生による韓国語講座を受講した。
- * 1 日めは K-POP に関連する施設を訪れ、2 日めはヘウォン女子高校で交流をし、3 日めは韓国の歴史を学ぶ。
- * 帰国後、4 月の始業式で報告会を行う予定。

(質疑応答)

- オープンスクール等の機会でプレゼンをするのか。

- * SNS を中心に情報発信している。国際交流に関心があり受験してくれた中学生もいた。
- 勉強面を強調しすぎるとかえって生徒の関心を損なわせるかもしれない。現地の人と日常を過ごすことによる学びもあるのではないか。
- * エンパワーメントスクールでは初めての取り組み。試行錯誤しながらより良い研修旅行にしていきたい。

5. novel 部活アカデミーについて

- * 地元の小中学生も参加してもらい、新しい部活動の形を世の中に提案したい。
 - * 少子化の影響で部活動の規模が縮小しつつある。
 - * 特に休日において学校施設が活用されていないことがあるが、地域の子どもたちは思う存分体を動かす場所を求めている。
 - * 多くの機関の協力を得てプロが運動プログラムを開発。不登校生徒も増加する中、心と体の健康を運動により取り戻したい。
- 持続可能な取り組みにするためにはもう少し的を絞って実施してからできることを増やしたほうが良いのではないか。
- 自治体や私立、公立によって部活動との付き合い方は様々。
- * 生徒にとっては学校での部活動の幅が狭まる一方、外部でプロの指導を受けられるメリットもある。一長一短でこれから試行錯誤していかなければならない。

【協議事項】

1. R5 年度学校経営計画及び学校評価について

- * キャリア教育の充実度肯定率 86.6%、学校行事が盛んである肯定率 85.4%、部活動の加入率 37.5%、いじめへの対応の肯定率 82.8%が上昇した。
- * 東幼稚園との連携も復活し、働き方改革の面で教職員からの肯定率が、これまで低かった質問項目で初めて 50%を超えた。17 時以降は学校代表の電話が自動音声案内になったり、Google form で生徒の欠席連絡を受けることにしたのが功を奏したのか。

2. R6 年度学校経営計画及び学校評価について

- * キャリア教育を充実させるために「医療の道」を新規開講。看護系を志望する生徒が増えたこともあり、総合学科の強みを生かしたフォローをしたい。
- * スタディツアー in 韓国を来年度も継続させたい。
- 中学校から看護系を志望する生徒はかなり多くいる。
- * 総合学科の強みを生かした進路指導をしていきたい。専門学校や地域の病院との連携も見据えている。
- 奨学金等の経済面でのサポートを受けられるように学校からの情報提供や家庭へのサポートをお願いしたい。
- * 奨学金等においては進路指導部のみならず学校全体で支援していく。